

INTERNATIONAL FILM FESTIVAL  
TOKYO  
**FILMEX**  
OFFICIAL SELECTION  
É Tudo Verdade  
It's All True  
FESTIVAL INTERNACIONAL DE DOCUMENTARIOS  
INTERNATIONAL DOCUMENTARY FILM FESTIVAL 2021

# サンタス オキナワ

『花と兵隊』『祭の馬』松林要樹監督最新作  
OKINAWA/SANTOS



「日系移民強制退去事件」に迫る

沖縄とブラジルの間に埋もれていた移民史の暗部  
もう一つの「戦争」と「戦後」を生きた人々の物語

撮影・編集・監督:松林要樹 カラーコレクション:中谷駿吾 (ムーリンプロダクション) 整音:川上拓也 取材協力:ブラジル沖縄県人会 サントス日本人会 製作:玄要社 配給:東風 日本/2020年/90分 ©玄要社 [okinawa-santos.jp](http://okinawa-santos.jp)



# 戦後70年以上を経て明かされる 「日系移民強制退去事件」 の真実

第二次世界大戦前夜から戦中のブラジル。高まるナショナリズムを背景にヴァルガス独裁政権は、約20万人の日系移民に対し、日本語新聞の廃刊、日本語学校の閉鎖、公の場での日本語の使用禁止などを命じた。そして1943年7月8日、事件は起きる。南東部の港町サントスで暮らす日系とドイツ系の移民に、24時間以内の退去命令が下された。家財や土地を残したまま、ある者は収容所へ送られ、ある者は家族と生き別れ、コミュニティは離散した。しかし戦後70年以上にわたり、「日系移民強制退去事件」は長らくタブーとされ、この悲惨な出来事がブラジルの日系人社会で公に語られるることはなかった。なぜ人々は口を閉ざし続けてきたのか？ いったい何が起きていたのか？



## 第21回東京フィルメックス・コンペティション部門正式出品

### 『花と兵隊』『祭の馬』松林要樹監督 待望の最新作

この歴史の深い闇に挑むのは、『花と兵隊』で戦後もタイ・ビルマに留まった「未帰還兵」たちの今に迫ったドキュメンタリー映画監督の松林要樹。発見された「名簿」から、強制退去させられた日系585世帯の6割が沖縄からの移民だった事実に注目した松林は、ブラジル沖縄県人会の協力を得て生存者たちを訪ね、日本とブラジル、大和と沖縄の間に埋もれた史実を明らかにしていく。異国で知られざる「戦争」と「戦後」を生き抜き、晩年を迎えた人々の証言。彼らが自らの人生を語る言葉は、ヘイトクライムや難民問題など、今まさに共に生きることの難しさに直面している私たちに道しるべのように響く。



OKINAWA/SANTOS

@okinawa\_santos fb.com/okinawa.santos.film okinawa-santos.jp

8/7 土 ロードショー

全国共通特別鑑賞券 ¥1,300(税込) 発売中

【シアター】  
イメージフォーラム  
03(5766)0114 www.imageforum.co.jp  
[全席指定席・オンライン予約有]

